NO.

081

哲学・倫理 寄付と利他主義

Why Do We Give?

人はなぜ与えるのか

英文の音声

レベル ★★☆ やや難 | 253語 | 熟語13個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 Why would anyone give money to a stranger they will never meet? From the point of view of pure self-interest, it makes little sense. Yet every day, millions of people ❶**contribute part of their income to** charities, and many more ❷**are willing to** ❸**lend a neighbor a hand** without being asked.

2 Psychologists have offered several explanations. One is that giving simply feels good. Many people ❹**derive a real sense of satisfaction from** helping others, a feeling sometimes called the "warm glow." Brain-imaging studies have found that giving to charity can activate areas linked to reward.

3 Another explanation is reputation. A large gift with the donor's name on a building is, ❺**of course**, partly a way to ❻**show off**. Others give because they expect something ❼**in return**: if I ❽**do you a favor** today, you may help me tomorrow. Japan's hometown tax donation system, under which donors often receive local products as thank-you gifts, openly combines generosity with reward.

4 Does this mean that true altruism does not exist? Probably not. Some people ❾**are devoted to** protecting forests ❿**for the sake of** generations not yet born, who can never thank them. Others ⓫**take the trouble to** give anonymously, avoiding any praise.

5 Generosity is also taking new forms. Through microfinance, ordinary people can ⓬**lend small sums to** entrepreneurs in poorer countries, who repay the money as their businesses grow. Whatever our motives, perhaps what matters most is that we ⓭**share what we have with** others. A mixed motive, after all, can still feed a hungry child.

語注 **self-interest** 自己利益 **reputation** 評判 **altruism** 利他主義 **anonymously** 匿名で **entrepreneur** 起業家

この英文の熟語 IDIOMS 13個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 contribute A to B　A を B に寄付する・提供する □□□

to の後ろが寄付先。contribute to ~ だけなら「～に貢献する・～の一因となる」。名詞 contribution（寄付・貢献）も重要

例 *She contributed half of her prize money to the hospital.*　彼女は賞金の半分を病院に寄付した。

2 be willing to do　～するのをいとわない・進んで～する □□□

「頼まれればやってもよい」という前向きな気持ち。反対は be unwilling to do / be reluctant to do 例 *He is willing to work on weekends if necessary.*　彼は必要なら週末に働くこともいとわない。

3 lend A a hand　A に手を貸す □□□

手を貸す→手伝う。give A a hand / help A と同じ。Can you lend me a hand?（手伝ってくれる？）は会話の定番

例 *Could you lend me a hand with these boxes?*　この箱を運ぶのを手伝ってくれますか。

4 derive A from B　B から A を得る □□□

A を B から引き出す。受け身 be derived from ~ は「～に由来する」（語源の説明で頻出） 例 *Many people derive great pleasure from gardening.*　多くの人は庭いじりから大きな喜びを得ている。

5 of course　もちろん □□□

当然のこととして認める表現。論説文では「もちろん～だが、しかし…」と譲歩してから反論する流れ（of course ~ but …）で使われることが多い 例 *Of course, money is important, but it is not everything.*　もちろんお金は大切だが、それがすべてではない。

6 show off (~)　（～を）見せびらかす □□□

off＝人の目に向けて外へ。目的語なしで「格好をつける」。名詞 show-off（目立ちたがり屋） 例 *He likes to show off his new car to his friends.*　彼は新車を友達に見せびらかしたがる。

7 in return　お返しに □□□

in return for ~（～のお返しに）の形も多い。return は「お返し・見返り」 例 *She helped me with my homework, and in return I cooked dinner for her.*　彼女が宿題を手伝ってくれたので、お返しに私が夕食を作った。

8 do A a favor　A の頼みを聞く □□□

favor＝親切な行為。Will you do me a favor?（お願いがあるのですが）は頼みごとの前置き。ask A a favor / ask a favor of A（A に頼みごとをする）とセットで 例 *Could you do me a favor and close the window?*　お願いですが、窓を閉めてもらえますか。

9 be devoted to ~　～に専念している・身を捧げている □□□

to の後ろは名詞か動名詞（to 不定詞ではない）。devote oneself to ~（～に専念する）の受け身に近い形 例 *The doctor is devoted to helping children in poor areas.*　その医師は貧しい地域の子どもを助けることに身を捧げている。

10 for the sake of ~　～のために □□□

sake は「利益・目的」。for one's sake / for the sake of one's health の形が多い。for the benefit of ~ と近い 例 *He quit smoking for the sake of his family.*　彼は家族のためにたばこをやめた。

11 take the trouble to do　わざわざ～する □□□

手間（trouble）を引き受けて～する。go to the trouble of ~ing と同じ意味。否定文では「わざわざ～しない」 例 *She took the trouble to write me a long letter.*　彼女はわざわざ私に長い手紙を書いてくれた。

12 lend A to B　B に A を貸す □□□

lend B A（B に A を貸す）の第4文型と書き換え可。borrow（借りる）・rent（有料で貸し借りする）との区別が頻出

例 *I lent my umbrella to a friend.*　私は傘を友達に貸した。

13 share A with B　A を B と分け合う □□□

with の後ろが分け合う相手。物だけでなく情報・意見・感情にも使う（share one's feelings with ~） 例 *She shared her lunch with a classmate who had forgotten his.*　彼女は弁当を忘れた同級生と昼食を分け合った。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第2段落で紹介されている、人が与える理由はどれか。

① 与えないと周りから責められるから。
② 他人を助けることで、自分自身も満足感を得られるから。
③ 法律で寄付が義務づけられているから。
④ 与えた分だけ税金が必ず安くなるから。

問2 第3段落で筆者がふるさと納税制度を例に挙げているのはなぜか。

① 日本人が世界で最も気前がよいことを示すため。
② 匿名の寄付が増えていることを示すため。
③ 与えることと見返りを受け取ることが結びついている例として。
④ 寄付が地域の経済に悪い影響を与えることを示すため。

問3 Which statement best reflects the author's conclusion?

① Even when motives are mixed, sharing with others is still valuable.
② People should only give if they expect nothing in return.
③ Microfinance is the only effective form of generosity.
④ True altruism has been proved not to exist.

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 A を B に寄付する・提供する
2 〜するのをいとわない・進んで〜する
3 A に手を貸す
4 B から A を得る
5 もちろん
6 （〜を）見せびらかす
7 お返しに
8 A の頼みを聞く
9 〜に専念している・身を捧げている
10 〜のために
11 わざわざ〜する
12 B に A を貸す
13 A を B と分け合う

背景知識 利他主義とは、自分の損になっても他人のために行動すること。人が寄付をする理由には、他人を助けると自分も気分がよくなる「ウォーム・グロー（温かな輝き）」、よい評判を得たいという気持ち、いつか助けてもらえるという「互恵」などがあるとされる。バングラデシュのムハマド・ユヌスは、貧しい人々に少額を無担保で貸すグラミン銀行を作り、2006年にノーベル平和賞を受けた。日本のふるさと納税は2008年に始まった制度である。

全訳 TRANSLATION　色の太字は熟語の部分

1 なぜ人は、決して会うこともない見知らぬ人にお金をあげるのだろうか。純粋な自己利益の観点からすれば、それはほとんど理屈に合わない。それでも毎日、何百万もの人々が**収入の一部を慈善団体に寄付し**、さらに多くの人が、頼まれなくても**進んで隣人に手を貸して**いる。

2 心理学者はいくつかの説明を示してきた。一つは、与えることが単純に気持ちよいからというものだ。多くの人は他人を助けること**から**本物の満足感**を得て**おり、その感覚は時に「温かな輝き（ウォーム・グロー）」と呼ばれる。脳画像を使った研究では、寄付が報酬に関わる脳の領域を活発にしうることが分かっている。

3 もう一つの説明は評判である。寄付者の名前が建物に刻まれるような大きな贈り物は、**もちろん**、ある程度は**見せびらかす**ための手段でもある。また、**お返し**を期待して与える人もいる。今日私があなたの**頼みを聞けば**、明日はあなたが私を助けてくれるかもしれない、というわけだ。日本のふるさと納税制度では、寄付した人がお礼の品として地元の産品を受け取ることが多く、気前のよさと見返りを公然と組み合わせている。

4 では、真の利他主義は存在しないのだろうか。おそらくそうではない。決して自分たちに感謝することのない、まだ生まれていない世代**のために**、森を守ること**に身を捧げる**人もいる。どんな称賛も避けて、**わざわざ**匿名で寄付する人もいる。

5 気前のよさは新しい形もとりつつある。マイクロファイナンスを通じて、普通の人々が貧しい国の起業家**に少額のお金を貸し**、起業家は事業が育つにつれてそのお金を返していく。動機が何であれ、おそらく最も大切なのは、自分の持っているもの**を他人と分かち合う**ことだろう。結局のところ、動機が混じっていても、空腹の子どもに食べさせることはできるのだから。

要旨 人が与える理由には、満足感・評判・見返りなどさまざまな動機があるが、見返りを求めない利他的な行動もある。動機が混じっていても、分かち合うことそのものに価値がある。

解答・解説 ANSWERS

問1 2　**問2 3**　**問3 1**

問1　正解 2 根拠は第2段落の One is that giving simply feels good と Many people derive a real sense of satisfaction from helping others。脳の報酬に関わる領域が活発になる研究も紹介されているので 2 が正解。1 の「責められる」という話は出てこない。3 の法律による義務も述べられていない。4 の税金はふるさと納税の制度に関係しそうに見えるが、第2段落の内容ではなく、「必ず安くなる」とも書かれていない。

問2　正解 3 根拠は第3段落の Others give because they expect something in return に続く、under which donors often receive local products as thank-you gifts, openly combines generosity with reward。見返りを期待する寄付の例なので 3 が正解。1 の「世界で最も気前がよい」という比較はない。2 の匿名の寄付は第4段落の話で、ふるさと納税とは逆の性質。4 の悪い影響には触れていない。

問3　正解 1 根拠は最終段落の perhaps what matters most is that we share what we have with others と A mixed motive, after all, can still feed a hungry child。動機が混じっていても分かち合いには価値があるという 1 が正解。2 は見返りを求める寄付も否定していない筆者の態度に合わない。3 のマイクロファイナンスは新しい形の一例にすぎず「唯一」ではない。4 は第4段落の Probably not（存在しないわけではない）に反する。